

【世界報道自由デーのオンラインセミナー】

報道の自由と新型コロナ

公文書・情報公開を考える

5月9日(土) 14:00~16:00 ZOOMを使用

1993年に国連総会は5月3日を「世界報道自由デー」とすることを宣言しました。それ以来、5月3日前後に報道の自由について世界中でさまざまな催しが企画されています。

日本では、アジア太平洋メディア情報リテラシーセンター(AMILEC)と日本ジャーナリスト会議(JCJ)が協力し、2017年以來3回にわたって、法政大学で「世界報道自由デー」フォーラムを開催してきました。今年はオンライン・セミナー(ウェビナー)方式で開催します。

【国境なき記者団東アジア総局長セドリック・アルピアーニ氏から特別メッセージも届いています。当日、公開します】

講演① 報道の自由と新型コロナ(14:00-15:00)



国境なき記者団・日本特派員 瀬川牧子氏

◇瀬川牧子(せがわ・まきこ) 1981年生まれ。産経新聞記者を経て、2009年以降、海外メディアの記者やコーディネーターとして働く。12年9月からフランスの国際ジャーナリスト団体NGO「国境なき記者団」日本特派員に任命される。同記者団が毎年発表する自由報道度の日本ランキング調査などに関わる。

講演② 報道の自由と公文書・情報公開(15:00-16:00)



毎日新聞社会部記者・大場弘行氏

◇大場弘行(おおば・ひろゆき) 2001年、毎日新聞社入社。阪神支局(兵庫県尼崎市)を振り出しに、大阪社会部府警担当、東京社会部検察庁担当、週刊誌「サンデー毎日」編集部、特別報道部などを経て現職。2019年、キャンペーン報道「公文書クライシス」取材班代表として、優れたジャーナリズム活動に贈られる第19回「石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」(公共奉仕部門)大賞受賞。

■参加費として一口 500 円のご支援を(クラウドファンディングを利用予定。詳細は後日、改めてお知らせします) 連絡先 03・3291・6475(JCJ月水金の午後)